

衆議院法務委員会ニュース

平成 25. 6. 14 第 183 回国会第 18 号

6 月 14 日（金）、第 18 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

・谷垣法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

田 嶋 要君（民主）

- ・刑務所に入所する者のうち、約 2 割が住所不定であるが、こうした年金の免除申請ができない者に対して、今後どのような対応をしていくのか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 27 年 10 月より年金の受給資格が短縮されるが、それを受けて受刑者に対し、免除申請の制度を周知徹底させることがより重要になると考えているが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・民間では以前から行われてきた保護観察対象者の雇用が、本来先頭に立って行うべき国や自治体などでどうして遅れたのか、また、今後どう取り組んでいくべきであるか、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・女子刑務所内で勤務する女性刑務官の年齢構成が若くなっている現状に対し、保護司等を中途採用するなどで対応することについて、法務大臣の見解を伺いたい。

西 根 由 佳君（維新）

- ・全国の矯正施設における医師の定員及び欠員の状況について、伺いたい。
- ・受刑者を外部の医療機関において受診させる際の対応について、伺いたい。
- ・矯正施設の医師は民間に比べ給料が低い上、治療を施した受刑者から危害を加えられる可能性があるなど過酷な状況にあるが、法務大臣の見解を伺いたい。

西 田 譲君（維新）

- ・民法第 146 条の「時効の利益は、あらかじめ放棄することができない。」という条文の解釈及び民法の時効の定めに対し、特例を定めた法律について伺いたい。
- ・時効の中断や消滅については、過去の事例や憲法との関係が重要だと思うが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・刑法第 81 条の外患誘致罪が実際に適用されたことはあるか、伺いたい。また、近年、我が国に対する武力行使と思われる行為について、外国との通謀がないということ

で捜査をしなかったということか、伺いたい。

椎 名 毅君（みんな）

- ・第 3 次薬物乱用防止 5 年戦略の実施状況はどうなっていて、次期の戦略策定に向けた課題としてどのようなものがあるのか、伺いたい。
- ・覚せい剤事犯による受刑者のうち同種事犯の前科を有する者はどの程度の割合となっているのか伺いたい。また、覚せい剤使用の問題を改善するため、施設内処遇及び社会内処遇としてどのようなことを実施しているのか、伺いたい。
- ・薬物使用者に対しては、再犯率の高さを踏まえ、保安的な観点からも刑事処分ではなく治療処分を科すほうが有意と考えるが、憲法上の問題を含め法務大臣の見解を伺いたい。

鈴 木 貴 子君（無）

- ・未だ過剰収容状態にある刑事施設について、今後、どのような対策をとるのか具体的に伺いたい。また、PFI 方式や業務の民間委託による刑事施設の運営の今後の在り方や刑事施設における刑務官の人員配置のバランスについての考え方を伺いたい。
- ・死刑執行の停止について、刑事訴訟法第 479 条第 1 項における心神喪失の状態の意義、心神喪失の状態を判断する者及び判断方法並びに同項による死刑執行の停止の事例の有無はどのようになっているのか、伺いたい。また、袴田巖死刑確定者が置かれている状態も踏まえて、刑事訴訟法第 479 条第 1 項による死刑執行の停止の在り方について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・法制審議会新時代の刑事司法制度特別部会が本年 1 月に取りまとめた「時代に即した新たな刑事司法制度の基本構想」において、我が国の刑事司法について、「ひずみ」も明らかになってきている旨の指摘があるが、「ひずみ」とは具体的に何を指すのか、伺いたい。また、この「ひずみ」の中には、密室での自白強要や捜査報告書の虚偽記載も含まれるのか、見解を伺いたい。

2 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律案（内閣提出第 52 号）

- ・ 谷垣法務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・ 参考人から意見を聴取することに協議決定しました。